

No.
21

令和元年6月発行

新潟市南区 農業振興公社だより

編集・発行

公益社団法人 新潟市南区農業振興公社

〒950-1292 新潟市南区白根1235 TEL 372-5024 FAX 374-0780

HP:<http://niigata-agri.or.jp>

E-mail:kousya-shirone@beach.ocn.ne.jp



令和元年度予算の概要

事業総額	104,999千円	4. 産地活性化総合対策事業	9,200千円
1. 総合振興対策事業	300千円	農作業パート事業・暗渠敷設事業	
公社だよりの発行・ホームページの管理		5. 資源循環事業	5,086千円
2. 農用地利用対策事業	89,100千円	堆肥散布業務委託	
農用地利用集積円滑化事業推進費		6. 果樹剪定枝資源循環推進事業	100千円
農地賃貸借料		事業推進費	
3. 農業振興対策事業	1,213千円		
主要果樹生育調査圃設置・水稻病虫害防除			
対策・販売促進活動			
各種団体・協議会への活動助成			

主要事業のご紹介

01

CORE BUSINESS ONE

農用地利用対策事業

当社は農用地を貸したい農家（出し手）から、農用地を借り受けて農業経営の規模拡大や効率化を図る担い手農家（受け手）へ貸付けします。さらに、当社は適正な賃貸借料を設定し、借り手から徴収して、貸し手に支払います。また、利用権設定の方法は下記のとおり三種類ありますので参考にして下さい。

利用権設定の種別	契約	賃貸借料	手数料	賃貸借料の支払時期		通知	補助金
				耕作者	所有者		
農業委員会通し	所有者 ⇄ 耕作者	両者の合意 (金納・物納)	0	両者の合意により決定		契約期間終了前	なし
南区農業振興公社通し	所有者 ⇄ 当社 ⇄ 耕作者	当社基準額※1	0	10月5日	10月15日	賃貸借料精算前(毎年) 契約期間終了前	なし
農地中間管理機構通し	所有者 ⇄ 機構 ⇄ 耕作者	両者の合意	賃貸借料の0.5% (出し手・受け手とも)	10月31日 11月30日	11月10日 12月10日	賃貸借料精算前(毎年) 契約期間終了前	経営転換協力金※2

①契約期間は基本10年間（両者の合意により決定）

②土改費の負担先は両者の合意により決定

※1:当社基準額 28,900円（圃場整備地）25,600円（未整備地）・・・基準額は毎年当社総会で農業情勢を勘案して審議し、その年の基準額を決定します。よって年度により精算金額は変動することもあります。

※2:経営転換協力金

所有する全農地（10a未満の自作地を除く）を10年以上機構に貸し付ける農業者

2019～2021年:1.5万円/10a（上限50万円/戸）

2022～2023年:1.0万円/10a（上限25万円/戸） 地域集積協力金と一体的に取り組む場合のみ対象

02

CORE BUSINESS TWO

産地活性化総合対策事業

農作業パート事業

本事業は農家の高齢化や担い手不足に対応して、当社が農作業パートを臨時雇用し、農家の作業を請け負うことにより農家の労力軽減を図ります。また、昨年度は農作業パート職員が不足していることから、募集チラシを南区の自治会を通じて全戸配布し、さらに新潟市農業サポーターの登録者へも送付したところ、多くの申込者がありパート職員の人員も増えました。



暗渠敷設事業

近年、樹園地の地下水上昇により果樹の生育に支障をきたしている圃場が多く見受けられます。その対策として暗渠工事を実施し、生育を改善させることにより高品質、安定生産を図ることができます。しかし、担い手の高齢化、後継者不足等で個人農家では暗渠敷設工事をするには限界があるため、当社が作業を請け負い、しろね果樹部会と連携して、本事業を実施しています。

03

CORE BUSINESS THREE

資源循環事業



新潟市から資源循環事業の委託を受け、農機具リースにより導入したマニアスプレッダ（堆肥散布機械）をキープクリーン（白根地区）とAOBA（味方地区）へ散布を委託し、下記の事業をすすめています。

1. 健康な「土づくり」による環境保全型農業の推進
2. 市民に対する安全・安心な「食」の提供
3. 農業者と消費者の互恵による地域づくり
4. 付加価値を高めた農産物のブランド化と生産拡大

04

CORE BUSINESS FOUR

果樹剪定枝資源循環事業

南区は果樹栽培が盛んな地域であることから、毎年多くの果樹剪定枝が発生し、その一部は焼却処理される状況にあり、市民からの苦情にも繋がっています。

この事業は、「無煙炭化器」を使用して果樹剪定枝から炭をつくり、樹園地に投入することにより病害虫発生への心配がなく、土壌改良をすすめることにより資源循環型農業の普及を図るものです。

具体的な内容

1. 貸出対象者 南区内の果樹農家
2. 貸出の流れ 「届出書」「位置図」の提出
当公社または最寄りのJAへ1部・南消防署へ2部
3. 貸出期間 1週間以内
4. 貸出の条件 無煙炭化器講習会の受講
今後の開催予定は南区、当公社、JA等を通じてご案内します。



耕作交換・受委託の意向調査について

現在、耕作している農地が「遠くて大変だ」・「近くなら増やせる」とお考えの皆さんへ

そのお悩みを当公社が仲介役となって、「遠い農地は委託」「近い農地は受託」することで、分散している農地を集積・集約し、作業の効率化を図り作付面積の維持・拡大をすすめましょう。

調査内容

「受託希望農地」の所在地:南区〇〇字〇〇(小字まで)
「委託希望農地」の所在地:南区〇〇字〇〇地番〇〇(地番まで)
を7月末までに当公社へ報告ください。

※注意事項

- ① 今回の調査は今後も継続して耕作する方を対象としています。
- ② 受託・委託希望農地は複数あってもかまいません。その後、当社でマッチングをおこないます。

〈今後の地域農業・農地について考えてみませんか〉

ご相談や説明会等のご要望等がありましたら、南区・当公社・最寄りのJAにお問い合わせください。

新規就農者紹介

五感を使って 奮闘中!

わたなべ たいへい
渡部 泰平さん 21歳



味方地区の(有)米八で就農2年目の渡部さんは、神奈川県の新農家の出身です。家族旅行で行った京都の田園風景が忘れられず、地元の高校を卒業後、米作りに携わる仕事をしたいとの思いから、新潟県農業大学校で稲作について学びました。

就農1年目の昨年は、先輩に教わりながら、広いほ場での米作りの苦勞、稼ぐことの大変さを実感したそうです。

地元の農家さんや職場の環境が良いので、何でも話せる雰囲気が良いと答えてくれました。

将来は、6次産業化など他の会社と違ったことに取り組み、新潟のお米の良さを広めていきたいと話してくれました。

連休前の作業の忙しい中でも、爽やかな笑顔が印象的でした。地域の皆さんで応援しましょう。

人事異動に伴う職員の紹介

4月の人事異動に伴い、職員に一部変更がありました。新たなチームとして地域活性化のために、職員一同力を合わせて尽力いたしますので、今後とも関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

【職員名簿】

職名	氏名	所属
事務局長	本間 芳則	JA新潟みらい(公社常勤)
事務局次長	鈴木 基	新潟市南区産業振興課(公社兼務)
事務局員	高橋 晴美	新潟市南区産業振興課(公社常勤)
事務局員	坂井 真紀	JA新潟みらい(公社常勤)
事務局員	中山 猛	新潟市南区産業振興課(公社兼務)
事務局員	岡村 康浩	新潟市南区産業振興課(公社兼務)
事務局員	吉田 聡	新潟市南区産業振興課(公社兼務)
事務局員	丸山 裕子	新潟市南区産業振興課(公社兼務)



表紙の写真は元号が発表された4月1日に白根風合戦協会の皆さんが制作、揚げた「令和風」です。元号が令和に変わ

り1ヶ月が過ぎました。この時代が、力強く大空を舞う白根の大風のように素晴らしい時代になるよう願ってやみません。